

平成29年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

平成 年 月 日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。
免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業生活等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除申請します。

スタンプ印、シャチハタ等は不可。
必ず朱肉で鮮明に押してください。

自署でなければならない。
フリガナも同様。

該当する課程に「✓」をつける。

大 学 院 名	フリガナ (百署) 氏 名			専攻	学 籍 番 号	印
課 程	修士 (博士前期) 課程	専門職大学院課程	博士 (博士後期) 課程			
研究科名・専攻名	専攻			学 籍 番 号		
奨 学 生 番 号	6	0 6	生 年 月 日	昭 和 年 月 日	平 成 年 月 日	
現 住 所	〒			電 話 番 号	()	

■大学院における研究課題

空欄は不可

ご自身の専攻を記入してください。
基礎理工学 or 総合デザイン工学 or 開放環境科学

題 目		
概 要	印刷後、文章が途中で途切れていないか確認。	
	別紙『業績の種類および評価項目』を確認し、自身の業績に該当する項目に1つ以上「○」をつけてください。 「○」をつけた項目については業績を証明する資料が必要です。	

■教育研究活動等の業績

1	学位論文その他の研究論文	2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果
4	著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く。)	5	発明	6	授業科目の成績
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	8	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	9	スポーツの競技会における成績
10	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績				

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

※【記入上の注意】4. に「それらの要旨を800字程度で記載すること」と案内されていますが、理工学研究科では以下の注意事項の通りに記入してください。

【注意事項】

- ①表面「教育研究活動等の業績」で「○」を付した業績内容を項目ごとに記載すること
- ②1行の高さを変更しないこと。業績がこの欄に記載しきれない場合は1文字のフォントを小さくし、1行に2行記載すること
- ③1つの項目に業績が複数ある場合は「1. (2)-1、(2)-2」など分かるように記載すること
- ④業績および評価項目No. は別紙『業績の種類および評価項目』で確認し、付与すること
- ⑤以下の記入例の通り、箇条書きで記入すること
- ⑥この欄に記入出来る業績は、別紙『研究業績書の作成方法』4ページの【研究業績書に記載できる業績の対象期間】に挙げたものに限る

【記入例】

1. 学位論文その他の研究論文

(1)-1 学位論文(修士論文または博士論文)のタイトルを記入

(2)-1 著者(全員、論文記載順、発表者に下線を引くこと)、論文題目、発表会議名(主催学会名)、開催地(国)、開催年月日を明記。加えて、「○年×月△日発表済(既に発表している場合)、○年×月△日発表予定(発表日が決定している場合)、○年×月△日発表決定(発表自体は決定しているが、発表日は未定の場合)」のいずれかを追記する。

(2)-2 "

(2)-3 "

(3)-1 著者(全員、論文記載順)、論文題目、掲載論文誌名(巻・号・頁)に加えて、「○年×月△日掲載済(既に掲載されている場合)、○年×月△日掲載予定(掲載日が決定している場合)、○年×月△日掲載決定(掲載自体は決定しているが、掲載日は未定の場合)」のいずれかを記載する

(3)-2 "

※「B」以下の評価が一つでもあった場合は、業績として認められません。

6. 授業科目の成績

(1)-1 優秀な学業成績を修めた(取得単位はすべて「A」あるいは「S」であった)※

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績

ここに記載した業績を証明する資料を添付すること。準備する資料の内容は「特に優れた業績を証明する資料の表紙」に記載されているものを準備すること

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの□に✓すること。(提出予定の場合は提出予定年月も記載)

提出済み

提出予定 (平成 年 月 大学へ提出予定)

【口座振替(リレー口座)加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの□に✓すること。(手続き予定の場合は予定年月も記載)

手続き済み

手続き中

手続き予定 (平成 年 月)

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

この文言は無視し、上記の記入例に従って作成してください

- 1. 「課程」欄は、該当するいずれかの□に✓すること。
 - 2. 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更 台、返還のてびき(17頁)を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
 - 3. 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野は に関連した業績に限る。
 - 4. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
 - 5. 大学院における成績証明書及び特に優れた業績であることを証明する資料を必ず添付すること。(成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)
- (注) これは様式1-1(裏面)です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとする。